

第 1 回検討会で委員から出された意見

項目	委員からの意見
<p>県立病院改革の基本方針について</p>	<p>事務局からの説明を聞いて、「当分の間は県立県営」という方針が出されているため、その先はどうか分からないというように受け止めたが、病院というものは地域住民の健康を第一に考えなければならないものであり、当分の間で区切ることはおかしいと思う。それから、一志病院の診療圏は白山・美杉に限られており、広域性が無いと言われるが、広域として位置づけることができる病院である。もっと一志の方などから患者を呼び込むことはできる。検査については一志病院でやるなど、もっと市街地から患者を受け入れるようなシステムを作っていたら広域性は認められることになる。広い目で見えていただきたい。</p> <p>「当分の間、県立県営」という方針により、院長就任以来、手足を縛られているような感じを持っている。この文言によって、地域のためにいいことをやろうと思っても制約があった。ぜひ今回の検討会で「当分の間」という言葉を取っていただきたい。</p> <p>基本方針における「診療圏に広域性があるとは認められない」ことについては、医療だけに関した狭い視野で言えばそう言えるが、一志病院では教育や研究にも取り組んでいる。一志病院で育った医師が県内でどういう活動をしているのか検証すれば広域性があるということが言えると思う。研究の方でも、英語で論文を書いたり海外で学会発表をするなど、世界に向けて発信している。そういった医療以外の面にも着目すれば非常に広域性があると言える。</p>
<p>総合診療医の育成について</p>	<p>総合診療医を育成するという立場からいつも思っていることではあるが、我々の総合診療の考え方は人のいない遠隔地で医師を育てようとしている。人が少ない所は医師も少ないので、そういう所で医師を育てようと考えていたが、人がいない所で育てることは間違っているのではないかと感じてしまう。</p>

総合診療医の育成について	<p>県として今後、総合診療をどのように使っていただけるかについて非常に興味を持っている。その辺のことも次回以降議論していただければと思う。</p>
一志病院の役割について	<p>救急患者の住所地によっては一志病院への搬送を拒まれるケースはあるが、一志病院の方で断ることは基本的にはない。</p>
	<p>例えば、一志病院に内科の専門医を配置すれば心筋梗塞も診られるようになり、三重中央病院への救急搬送の件数も変わり、一志病院の性格も変わると思われる。</p>
	<p>しかしながら、人口が減っていく中で、このようなことを考えるのであれば、場所とか運営形態とか抜本的に見直す必要がある。例えば、現在より幅広い疾患や手術に対応することを考えるのであれば、もう少し東側へ場所を移すとか、市の負担も含め検討した方がよい。</p>
	<p>現状でも、専門的な医療を受けるために三重中央病院等で毎回受診しなくてもいいように一志病院と連携を取ることで、患者は近場の一志病院に通院することが可能である。</p>
	<p>診療科とか家庭医療の取組などについて、市民や県民向けにもっとPRすれば病院の利用者も増えると思う。</p>
	<p>一志病院では三重大学や県立看護大学の実習生を受け入れている。現在、特に訪問看護師の質の向上が求められている中、地域における実践的な教育を通して看護師の質を上げていくことで、地域の人たちが安心して暮らしていけることが望ましいと思う。</p>
	<p>訪問診療、訪問看護、訪問薬剤指導、訪問栄養指導をしていただき、在宅を進めるたくさんの方の力をいただいている。細かなところでも連携を密に取れているのが美杉の現状である。今後ともお願いしたい。</p>
	<p>高齢の方はもとより、子育ての関係でも協力をいただいている。例えば、発達障害の勉強会へ医師が参加し、色々と教えていただき、事態の悪化を食い止めるための力添えとなっている。</p>
	<p>一志病院は、白山・美杉地域にとって非常に大きな存在であり、無くてはならない病院である。一志病院が高齢者に対して優しく接していただいていることは、地域にとってありがたい。将来的にも一志病院が存続できるかどうかは住民にとっても関心のあるところだと思う。</p>

一志病院の役割について	<p>「当分の間は県営で」という方針であるが、仮に一志病院が民営化すれば美杉地域の医療はなくなる。なんとか美杉地域の医療の確保をお願いしたい。</p>
	<p>県立病院改革以降、病院としての改革を進められ、住民が安心して暮らせる地域作りにとっても貢献していただいている。</p> <p>また、一志病院は総合診療医の育成と学問としての総合診療としても非常に大きな位置付けを占めた病院である。</p>
	<p>一志病院については、随分変わってきているなという印象を持っている。本日、四方委員からの詳細な説明を聞き、この努力に報いることが大事ではないか、三重県や津市にとって宝物ではないかと思った。竹村教授の活動も全国的に評価されており、一志病院は凄い場所であるという印象を持っている。</p>
	<p>一志病院が地域に密接に入り込んでいただいていることは、これまで肌を感じていたが、さらに本日、四方委員からの説明を聞いて、努力されていることに感心させられた。美杉・白山の医療は一志病院が無ければ今後も成り立たないと思っている。県のモデル的な地域医療のあり方、医療・介護分野も含めて、あの地域で素晴らしいものができることを願っている。</p>
	<p>一志病院を存続させないといけないことは間違いないので、どうかたちで存続させるかについて議論したい。</p>
地域医療構想について	<p>津地域医療構想において、どのようなかたちで一志病院を位置付けるのかということが非常に大事になると思う。</p>
	<p>地域医療構想があって、一志病院のあり方があるのではなく、地域の状況を見て、一志病院のあり方が考えられて、そして地域医療構想が作られていくというのが法の精神ではないのかと思う。</p>
	<p>地域における事情はそれぞれ異なり、色々な事情を加味して総合的に作るのが地域医療構想だと思う。この検討会では、津地域医療構想の中で一志病院にこういった性格を持たせたいというような答申でもいいのではと思う。</p>